

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: ジェニファー E. ジョーンズ
 第 2550 地区ガバナー: 佐貴直通
 事務所: 〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
 ベルヴィ宇都宮内
 TEL: 028-651-2550
 FAX: 028-651-2551
 E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会長: 植竹一裕 幹事: 大島三千三
 事務局: (有)大島商店 大島三千三
 〒329-3155 那須塩原市笹沼262
 代表取締役 大島三千三
 TEL: 0287-65-0863 FAX: 0287-65-3381
 E-mail: 3003@mvp.biglobe.ne.jp
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2976回 植竹年度第12回例会会報 2022-10-26 司会 永山三芳君

本日のお客様

- 国際ロータリー第2550地区
 米山記念奨学会委員長
 田島良久様(馬頭小川ロータリークラブ)
- 国際ロータリー第2550地区
 米山記念奨学会資金推進委員長
 渡邊将宏様(西那須野ロータリークラブ)
- 国際ロータリー第2550地区
 米山記念奨学生 オーシタク様
 (中国黒竜江省:国際医療福祉大学在学)



田島様 植竹会長 オーシタク様 渡邊様

北極や南極に近い地域、赤道周辺の国々など四季をあまり感じられない地域は世界にたくさんあると思います。日本人は世界の中でも四季の変化を楽しむ事が出来る恵まれたところに暮らしている実感が湧いてきます。特にこの地域はわざわざ紅葉狩りで混雑しているところに行かなくても、ちょっと黒磯周辺を散策すれば十分に楽しむ事が出来ると思います。那須のお山が上から少しずつ変化していく様は素敵だと思います。これが落ち葉となって本格的な冬の到来となります。

理論的に全てが解明されているかは分かりませんが、夏までは太陽からのエネルギーを葉に貯蔵しますが、秋から冬にかけて日照時間が減少すると翌年の春を迎えるために木の内部に栄養素を溜め込む事が化学的に色の変化となって現れます。いわば日照時間が冬に向けて減少する事で葉の老化現象が起こってしまい、最後に枯れ落ちてしまうのです。理論的にいうと何だか悲しい感があります。紅葉狩りの話をするだけで、頭の中に山の風景が浮かんでくると思います。我々の頭の中には素晴らしい想像力が潜んでいます。

尾崎士郎原作の「人生劇場」という長編小説があります。地方から早稲田大学に入学し

会長挨拶 植竹一裕会長

10月最後の例会になります。紅葉の季節になりました。日本は春夏秋冬がはっきりしておりそれぞれの四季折々の風景や行事を楽しむ事が出来ます。季節的には紅葉狩りのシーズです。紅葉は黄葉(こうよう・おうよう)とも書くそうです。山の風景を緑から徐々に赤く変化して季節が冬に向かって走り出します。その様変わりする様子が素敵な景観となって我々を楽しませてくれます。

出席報告 黒澤洋一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 10月26日	35(8)	29(5)	6(3)	90.6%	—	—
前回 10月19日	35(8)	26(5)	9(3)	81.3%	4	93.75%

た青成瓢吉の青春とその後を描いた小説ですが、村田英雄さんの歌の方が有名だと思います。歌の間にセリフがあることをご存知ですか？その一説を読みます。「春は花咲夏茂り、秋は紅葉の錦絹、冬は雪降る故郷の・・・」と続きます。まさに四季を楽しむ一説だと思います。言葉でなんとなく風景が頭の中に浮かびませんか？

先週は、ちょっとだけ「スポーツの秋」に触れましたが、今日は読書です。最近パソコンや、スマホ、テレビや動画の発達で、情報が耳から入ることが増え、自分自身で読む事や字を書くことが減少していると思います。字を読んで頭の中にその情景を浮かべる事や手紙を書くことは、脳を鍛える事になると私は思います。

例えば有名な小説が映画化されそれを鑑賞したとします。その後で原作を読むと主演の俳優さんの顔が浮かびませんか？

私は以前NHKで国盗り物語を見た後に原作を読みましたが、斎藤道三のイメージは平幹二郎さん・信長は高橋秀樹さん・濃姫は松坂慶子さんの姿が浮かんでしまいます。

本を読んで映画を見た場合は、頭の中に自分で考えた登場人物とのギャップに戸惑います。読書は想像力を鍛えてくれます。

以前東京で仕事をしている時は、オンとオフの切り替えをする為に、片道1時間の通勤時間が利用して読書タイムとしておりました。ラッシュアワーの中、新聞を広げる事も難しいので、場所を取らない文庫本を中心に読んでおりました。しかし、最近は文庫本の大きさでは読書が非常に厳しくなり、電子書籍を利用して文字を大きくして読書しております。電子書籍ですと出張の時にもipadひとつで、事足りますので、以前のように長期出張で文庫本を何冊も持って重たい思いをしなくてもすみます。電子書籍を有効な利用方法のひとつだと思います。

これは私の癖ですが、半年から一年後に同じ本を読むようにしています。初めて読んだ時の感動は減るのですが、最初に読み飛ばした部分に気がついた時や、さきに出てくるストーリーの序章を見つけた時に改めてその本が訴えている事を理解する事もありますし、話の矛盾を見つける事もたまにあります。ここ最近の活動自粛もあり、この3~4年は年間約100~110冊ほど読破しております。その60%~70%は読み直しております。何も流行りの新しい本である必要はありません。自分が読みやすい本から読書を改めて始めてみては如何でしょうか？

因みに私は日本の歴史小説が好きで、特に戦国時代の織田信長・豊臣秀吉・徳川家康以外の武将の本や、江戸時代の下町情緒を感じる人情斬を中心に読んでおります。

他に同じ事件を取り上げた時に違う立場の側からの視点で描かれている本を探します。例えば、関ヶ原の合戦であれば東軍サイドの視点で描かれている本と西軍サイドの視点の本を続けて読むようにしています。同じ物を取り上げても立場が違えば感じ方が大きく違いますから、うまく言えませんがその辺を楽しんでおります。

最後に私が興味の湧いた作品をご紹介します。富樫倫太郎の三部作で「信玄の軍配者」「早雲の軍配者」「謙信の軍配者」です。読んでのお楽しみですが、この三部作は足利学校に学んだ軍配者の話になります。読む順番はこの順でいいように思いますが出来れば三部作を続けて読んでいただいた方がいいかと思えます。この三冊は特に2回目・3回目を読む時に順番を変えて読んで面白いかもかもしれません。

どなたかお薦めの本がございましたら教えていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いたします。

幹事報告 大島三千三幹事



1. 10月19日 第6回 理事役員会議事録報告 全会員にメール済み。
2. 11月9日 次回例会終了後 第7回理事役員会を開催いたします。
3. 11月9日 例会前、11時30分 理事役員会指名委員会を開催いたします。
4. 12月11日(日曜日) 2022—2023地区大会参加募集の案内。米山奨学会の決算報告書と月信を回覧しています。

<第6回理事役員会議事録>

- ① 11月のプログラムについて
*11月9日 外来卓話
国際ロータリー第2550地区
ロータリー財団委員長 森本敬三様
- ② 一年交換留学生 地区ROTEX企画宿泊研修会参加費10,000支出について、
令和4年10月15・16日 場所：日光市
*参加費10,000支出する。 <承認>
- ③ 地区第一グループ会長・幹事会登録料
1名3,000円支出について

令和4年10月13日、場所：花月（第一グループ会員1名2,000円支援金決定）

*登録料2名出席6,000支出 <承認>

- ③ 一年交換留学生（ヘイデン君）に支援金を当クラブ会員より1名2,000円贈呈

*会員1名2,000円支援金、口座引き落としで徴収する。 <承認>

- ④ 「ウクライナに平和を」チャリティーコンサートへ協賛について

*実行委員会の運営支援金 協賛1口10,000円支出する。 <承認>

- ⑤ （株）三和様より提供のマスク10万枚の寄贈先選定の件

*那須塩原市コロナ対策準備室と那須町社会福祉協議会に分けて連絡し、社会奉仕委員会が調整する。



長黒澤洋一さん、委員に高木慶一さんと私、鈴木隆子の3人で運営いたしております。

今月は、米山月間ということで、米山奨学会の現在の状況など、身近に感じていただければと思ひまして、本日、地区委員長の馬頭小川ロータリークラブ田島良久様、資金推進委員長の西那須野ロータリークラブ渡邊将宏様、米山奨学生のオーシタクさんにおいていただきまして卓話をお願い致しました。

オーシタクさんは現在、大田原ロータリークラブが世話クラブとなりまして、国際医療福祉大学に通って勉強していらっしやいます。

それではどうぞよろしくお願ひいたします。

○ 国際ロータリー第2550地区

米山記念奨学会委員長

田島良久様(馬頭小川ロータリークラブ)



皆様、改めましてこんにちは。地区米山記念奨学会委員長を務めます佐久間良久です。本日は是非とも米山記念奨学生オーシタクを紹介したと思ひ黒磯ロータリークラブに3人でお邪魔いたしました。

黒磯ロータリークラブでは2018年に秋間さんに米山奨学生のカウンセラーを務めていただいてから4年間のブランクがあり、今後また米山カウンセラーを受けていただくなどよろしくお願ひいたします。

委員会報告 藤崎善隆副会長



ニコニコボックス 佐藤博委員長



- 相馬征志君 誕生・結婚祝いありがとうございます。
- 佐藤 博君 冷え込みが厳しいです。ご自愛ください。

本日の卓話 鈴木隆子米山記念委員長

今年度の米山記念奨学会委員会は、副委員

なお、米山記念奨学会の詳しいことについては地区米山記念奨学会渡邊資金推進委員長から説明がありますのでどうぞよろしくお願ひします。

○ 卓話「米山記念奨学会について」
地区 米山記念奨学会資金推進委員長
渡邊将宏様(西那須野ロータリークラブ)



皆様、こんにちは。地区米山記念奨学会資金推進委員長渡邊将宏です。黒磯とは縁がありまして私の母は錦町の出身で瀬尾紀夫さんとは同級生と聞いております。小さい頃黒磯駅で駅弁を買ったことを小さい頃の思い出として覚えております。
それでは、米山記念奨学会の卓話を始めさせていただきます。

ロータリー米山記念奨学金の特長

日本のロータリー全34地区独自の合同事業で会員の寄付が財源

事業規模は国内民間の留学生奨学団体で最大

給付型奨学金

累計22,267名、129の国・地域の留学生を支援

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生を、世話クラブ+カウンセラー+地区米山奨学委員会がサポート

設立から一貫して外国人留学生を支援

▶ 奨学生数の決定と選考

採用基準(全国統一)

- ・ 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- ・ 家庭状況、経済状況は評価対象外

将来の目的

交流への熱意

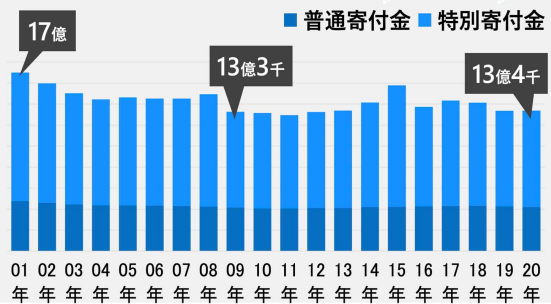
人間性

コミュニケーション能力

地区裁量

▶ 寄付金の推移

クラブ会員数分の寄付 1円~の任意寄付



▶ 学友会の活動【海外】



・米山事業は、半世紀以上の歴史を持つ日本のロータリー独自の国際奉仕事業です。

他のプログラム同様、素晴らしい出会いがあります。彼らを導き、見守り、成長を喜べる人財育成事業です。絆がカギです。

最後に米山記念奨学事業の価値は、どんな奨学生を採用したか、そしてどんな奨学生に育てたか、育ってくれたかです。ご静聴ありがとうございました。

○ 卓話「奨学生になって」
 地区米山記念奨学生 オーシタク様
 (中国黒竜江省:国際医療福祉大学在学)

皆様、こんにちは。初めまして。
 私は米山記念奨学生オーシタクと申します。



勤めた病院——佳木斯大学第三付属病院

受診対象：10ヶ月～10歳
 言語聴覚士16人 入院・外来療
 疾患：脳性麻痺、発達障害、運動障害など 育による2グループ

科目：理学治療・作業治療・言語治療
 感覚統合訓練・水治療・
 鍼灸マッサージ治療室 言語聴覚科の在籍の子ども：60人～
 120人

以上です。
 ありがとうございました。



永山三芳 副SAA

自己紹介

- ・ 出身：中国 黒竜江省 佳木斯市（ジャムスシ）「東方第一の都市」
- ・ 学歴：2016年6月 佳木斯大学薬業医学部リハビリテーション学専攻卒業
- ・ 職歴：2015年 黒竜江省中医薬大学第二付属病院 成人言語治療科 実習
 2016年7月～2019年2月 佳木斯大学第三付属病院 言語治療科 言語治療士

10月26日欠席者（敬称略）
 荒井昌一 泉道夫 鳥居輝一 秋間忍
 渡辺裕雄 高木慶一

前回10月19日分メイクアップ（敬称略）
 村山茂 渡辺裕雄 稲垣政一 鈴木隆子

次回例会 令和4年11月9日 担当 ロータリー財団委員会

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：秋間忍・村山茂・和氣勝利・瀧田雅仁